

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 7 日

評価対象事業		評価者	教育総務課担当課長 小澤 圭介	
教育-09	実施事業	社会教育運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 教育総務課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課 学務課
総合計画上の位置付け	分野	生涯学習	施策の方針	多様な学習機会の提供と学習成果の活用

1 事業の目的

対象	市民等
意図	「生きがい」や「自己の実現」のみならず、地域社会の活性化や高齢者の社会参加の促進など、豊かな地域づくりを目指すため。
効果	「誰もが、いつでも、どこでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価される」ような生涯学習社会を構築する。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員会議を開催した。 ・市内在住・在学の小中学生を対象にコンサート等を開催した。 ・教育文化施設建設の財源に充てるための基金を活用した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)決算		データ区分	02年度(2020年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	176,608人	83,058世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数	1,152人		363人		事業の対象者数			
運営資源状況	決算値(千円)	4,390	5,006		当初予算(千円)	2,834		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他	852	1,725		その他	1,527		
	一般財源	3,538	3,281		一般財源	1,307		
	人員配置数	1.0	1.5		人員配置数	0.3		
	人件費(千円)	7,844	12,042		人件費(千円)	3,798		
事業経費運営	総事業費(千円)	12,234	17,048		総事業費(千円)	6,632		
	市民1人当りの経費(円)	69	97		市民1人当りの経費(円)	38		
	対象者1人当りの経費(円)	10,620	46,964		対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	4. 市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-1. 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある
		○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○. 協働実施済 協働実施済の場合のパートナー 鎌倉美術連盟
事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> その他 既存の社会教育振興事業の目的、効果について再点検し、事業そのものを見直す。 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 現在取り組んでいる事業は市民ニーズも高く、多くの参加者を集めていることから、現状維持としながら検討を進めていく。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	子どものためのウインターコンサート、かまくら子どもコンサートなど既存の社会教育振興事業は、家族で参加することが多く、家庭教育支援の一翼を担っている部分がある。 子ども写生大会においては、歴史ある建築物や史跡等で実施するなど、鎌倉市教育大綱で定める地域の特性を生かした郷土学習への理解につながるから適切な会場の選択を行う。	

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	効率的、効果的な事業実施を図るため、事業の実施内容の見直しや職員の事務作業を軽減する方策を検討する。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> 子ども写生大会の実施時期を見直した。 事業を実施するにあたり、委託団体に委託事業の再認識を求め、主体的な当日の進行を依頼した。 市民への周知方法に、SNSを活用した。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	多くの学びの機会を提供するために、民間との連携などを含め、社会教育委員会等を活用し、現状を分析してより市民ニーズにあった事業内容を検討する。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	3回の主催事業の参加人数 (子どものためのウインターコンサート、かまくら子どもコンサート、写生大会)					単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
子どもに対するより多くの学びの機会の提供	目標値	750	750	750	750	750	750	H28(2016年度)、H30(2018年度)は写生大会が中止のため2事業の値。 R01(2019)は、かまくら子どもコンサートが中止のため2事業の値。		
	実績値	755	995	765	987	749	320			
	達成率	100.7%	132.7%	102.0%	131.6%	99.9%	42.7%			

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	予定している2つのコンサートは、会場の定員に限りがあるため、実績値が大幅に増えることはない。したがって、同程度に推移していくことが、事業の成果が得られていると考えている。
-----------------------	---